

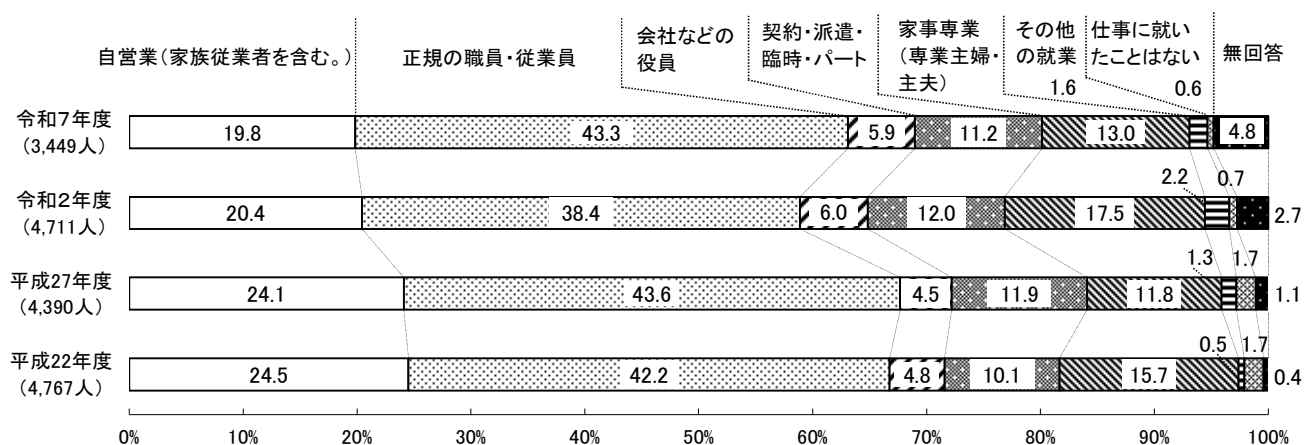
第10章 就業・経済

1 最長職業

今までに一番長く従事した仕事は、「正規の職員・従業員」の割合が最も高く、4割超

今までに一番長く従事した仕事を聞いたところ、「正規の職員・従業員」の割合が43.3%で最も高く、次いで「自営業（家族従業者を含む。）」が19.8%となっている。（図10-1）

図10-1 最長職業－過去調査との比較



(1) 最長職業－性・年齢階級別

今までに一番長く従事した仕事は、男性では「正規の職員・従業員」の割合が最も高く 61.4%、女性では「正規の職員・従業員」及び「家事専業（専業主婦・主夫）」が最も高く、25.5%

最長職業を性別でみると、男性では、「正規の職員・従業員」の割合が 61.4%で最も高く、次いで「自営業（家族従業者を含む。）」が 20.6%となっている。女性では、「正規の職員・従業員」及び「家事専業（専業主婦・主夫）」の割合が 25.5%で最も高く、次いで「契約・派遣・臨時・パート」が 19.8%となっている。

性・年齢階級別にみると、女性では、年齢階級が上がるにつれて、「家事専業（専業主婦・主夫）」の割合が高くなっており（19.3%～37.5%）、「正規の職員・従業員」及び「契約・派遣・臨時・パート」の割合は、低くなっている（30.9%～15.5%、26.8%～12.3%）。

（表 10-1）

表 10-1 最長職業－性・年齢階級別

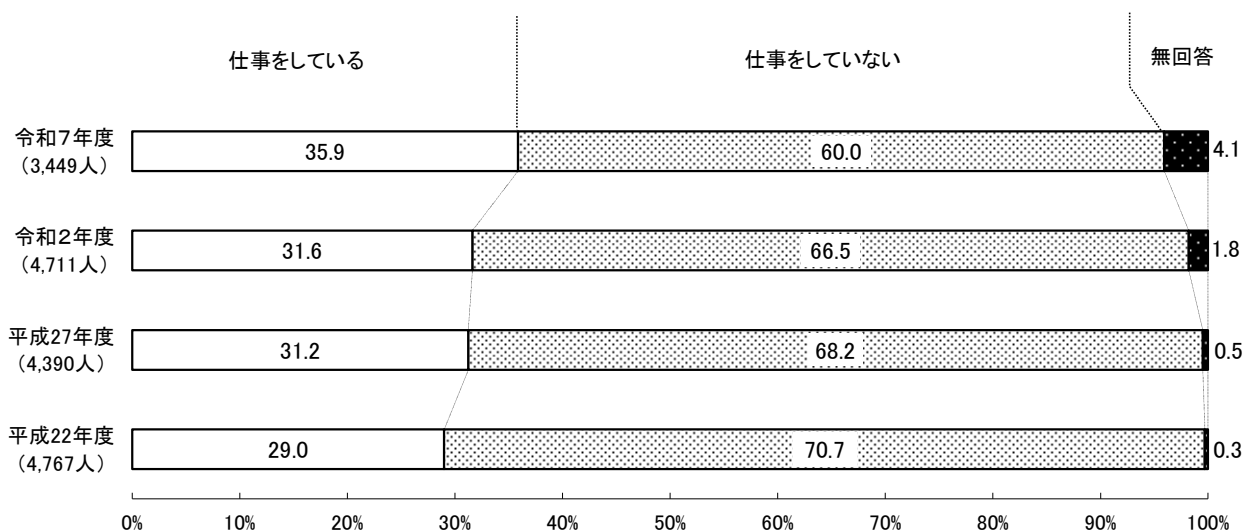
	総 数	自 営 業 （ 家 族 従 業 者 を 含 む 。）	正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	会 社 な ど の 役 員	契 約 ・ 派 遣 ・ 臨 時 ・ パ ー ト	家 事 専 業 （ 専 業 主 婦 ・ 主 夫 ）	仕 事 に 就 いた こ と は ない	そ の 他 の 就 業	無 回 答
総数	100.0 (3,449)	19.8	43.3	5.9	11.2	13.0	0.6	1.6	4.8
男	100.0 (1,708)	<u>20.6</u>	<u>61.4</u>	9.4	2.3	0.2	0.1	1.6	4.5
65～74歳	100.0 (815)	16.1	69.1	8.8	2.5	－	0.1	0.9	2.6
75～84歳	100.0 (695)	24.3	55.4	9.5	2.4	0.3	－	2.4	5.6
85歳以上	100.0 (198)	26.3	50.5	11.1	1.5	0.5	－	1.5	8.6
女	100.0 (1,741)	19.1	<u>25.5</u>	2.5	<u>19.8</u>	<u>25.5</u>	1.0	1.6	5.1
65～74歳	100.0 (669)	13.6	<u>30.9</u>	2.1	<u>26.8</u>	<u>19.3</u>	0.1	1.5	5.7
75～84歳	100.0 (731)	22.3	<u>25.2</u>	3.3	<u>17.0</u>	<u>25.6</u>	1.4	1.5	3.8
85歳以上	100.0 (341)	22.9	<u>15.5</u>	1.5	<u>12.3</u>	<u>37.5</u>	2.1	1.8	6.5

2 現在の仕事の有無

現在、「仕事をしている」割合は3割超

収入のある仕事をしているか聞いたところ、「仕事をしている」割合が35.9%、「仕事をしていない」が60.0%となっている。(図10-2)

図10-2 現在の仕事の有無－過去調査との比較



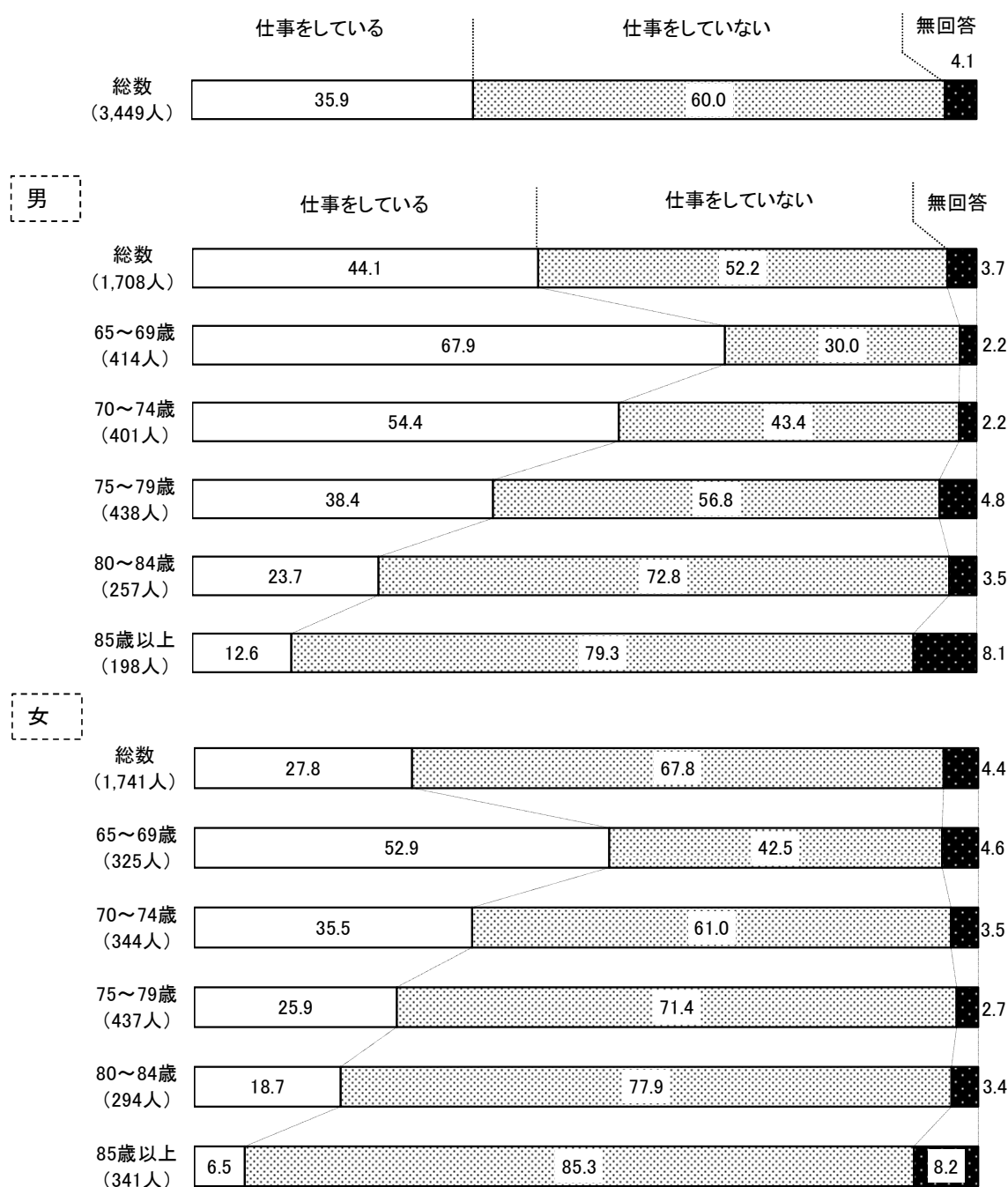
(1) 現在の仕事の有無一性・年齢階級別

現在、「仕事をしている」割合は男性 44.1%、女性 27.8%

現在の仕事の有無を性別でみると、「仕事をしている」割合は、男性 44.1%、女性 27.8%となっている。

性・年齢階級別にみると、65歳～69歳では、「仕事をしている」割合が男性 67.9%、女性 52.9%となっている。(図 10-3)

図 10-3 現在の仕事の有無一性・年齢階級別



(2) 現在の仕事の有無－健康状態、最長職業、理想の就業年齢別

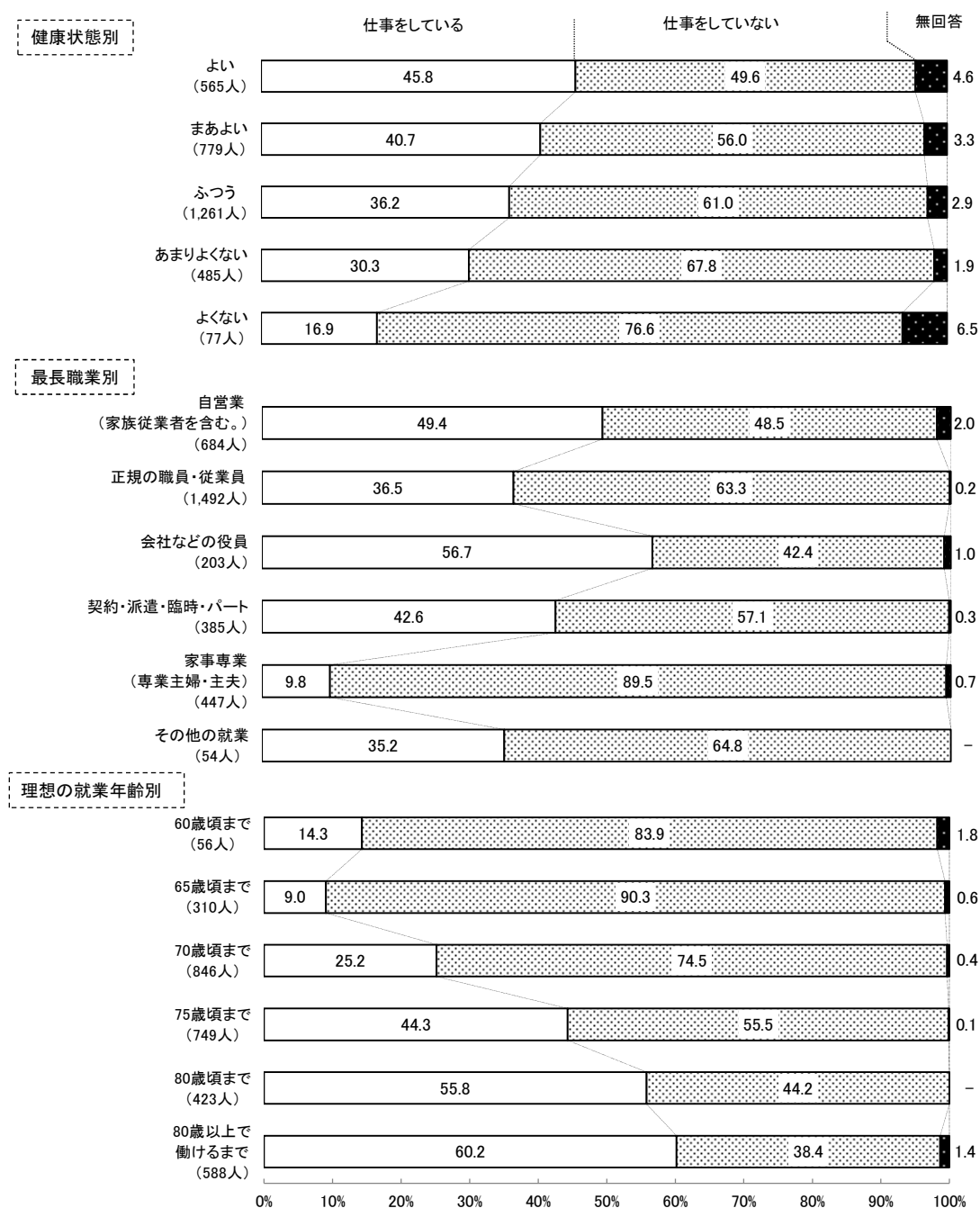
現在、「仕事をしている」割合は、最長職業が会社などの役員では56.7%、
自営業（家族従業者を含む。）では49.4%

現在の仕事の有無を健康状態別にみると、「仕事をしている」割合は、健康状態をよいと感じている人は45.8%となっている。

最長職業別にみると、「仕事をしている」割合は、会社などの役員では56.7%、自営業では49.4%となっている。

理想の就業年齢（何歳頃まで働ける社会が理想か）別にみると、「仕事をしている」割合は、80歳以上で働けるまでと考える人が60.2%で、最も高くなっている。（図10-4）

図10-4 現在の仕事の有無－健康状態、最長職業、理想の就業年齢別

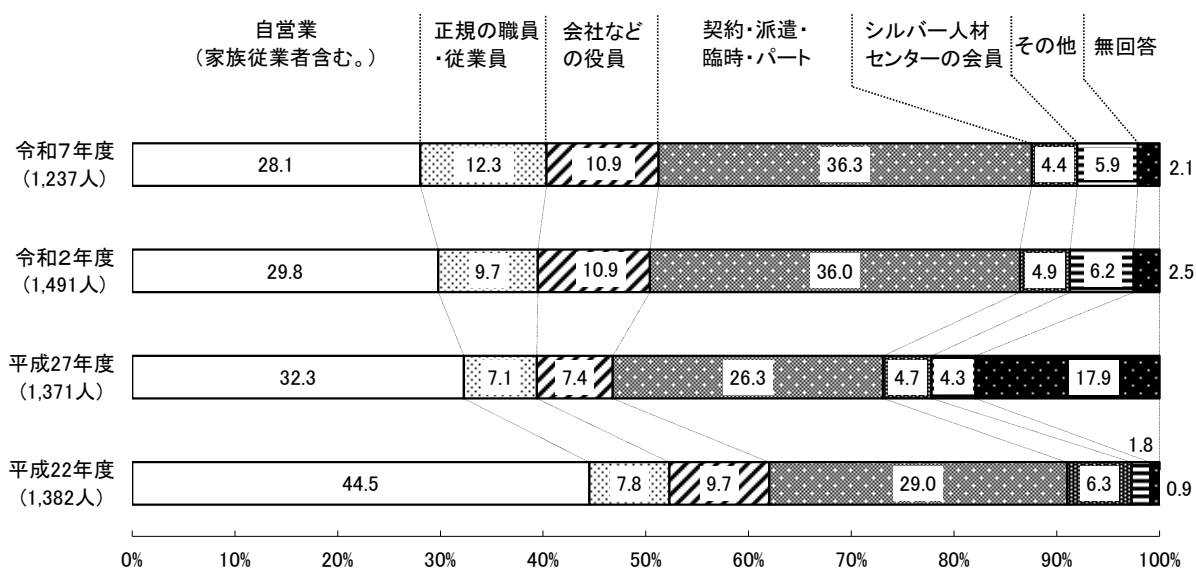


3 現在の仕事の就労形態

現在の仕事の就労形態は、「契約・派遣・臨時・パート」の割合が最も高く、36.3%

収入のある仕事をしている人（1,237人）に仕事（複数の仕事をしている場合は、収入の最も多いもの）の就労形態を聞いたところ、「契約・派遣・臨時・パート」の割合が36.3%で最も高く、次いで「自営業（家族従業者を含む。）」が28.1%となっている。（図10-5）

図10-5 現在の仕事の就労形態－過去調査との比較



(1) 現在の仕事の就労形態－性・年齢階級、最長職業別

男女とも、現在の仕事は「契約・派遣・臨時・パート」の割合が最も高く、次いで「自営業（家族従業者を含む。）」の割合が高い

現在の仕事の就労形態を性別でみると、男女とも、「契約・派遣・臨時・パート」の割合が最も高く（男性 31.5%、女性 43.8%）、次いで「自営業（家族従業者を含む。）」（男性 27.0%、女性 29.8%）となっている。

性・年齢階級別でみると、「正規の職員・従業員」の割合は、男性の 65 歳～69 歳は 23.5%で、他の年齢階級と比べて高くなっている。（表 10-2）

表 10-2 現在の仕事の就労形態－性・年齢階級、最長職業別

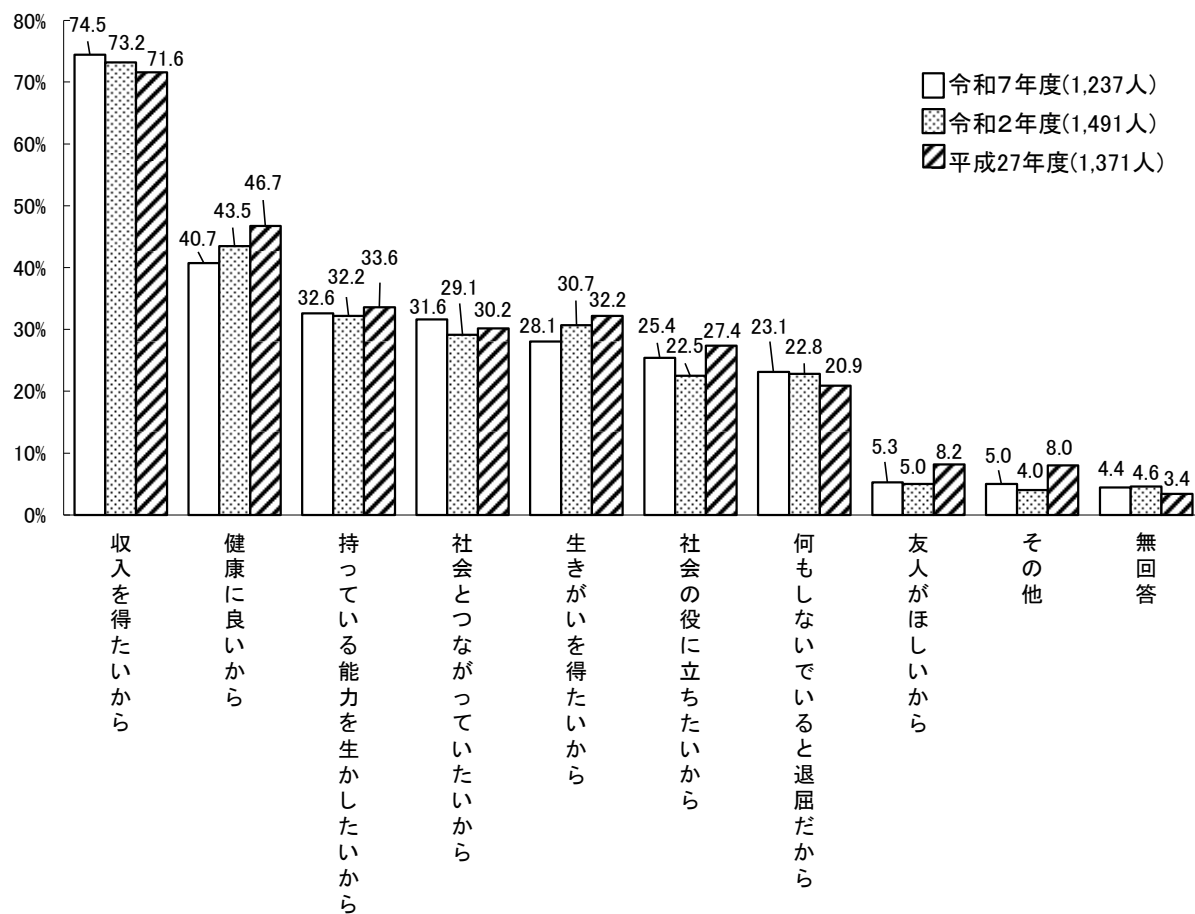
		総 数	（ 自 営 業 （ 家 族 従 業 者 を 含 む 。 ）	正 規 の 職 員 ・ 従 業 員	会 社 な ど の 役 員	契 約 ・ 派 遣 ・ 臨 時 ・ パ ー ト	シ ル バ ー 人 材 セ ン タ ー の 会 員	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (1,237)	28.1	12.3	10.9	36.3	4.4	5.9	2.1
性・ 年 齢 階 級 別	男	100.0 (753)	<u>27.0</u>	15.4	14.3	<u>31.5</u>	4.8	4.8	2.3
	65～69歳	100.0 (281)	21.4	<u>23.5</u>	12.1	38.4	1.8	1.8	1.1
	70～74歳	100.0 (218)	24.8	16.5	14.2	35.8	3.7	2.8	2.3
	75歳以上	100.0 (254)	35.0	5.5	16.9	20.1	9.1	9.8	3.5
	女	100.0 (484)	<u>29.8</u>	7.4	5.6	<u>43.8</u>	3.9	7.6	1.9
	65～69歳	100.0 (172)	21.5	8.1	5.2	59.9	1.7	2.3	1.2
	70～74歳	100.0 (122)	22.1	9.0	3.3	50.8	5.7	6.6	2.5
	75歳以上	100.0 (190)	42.1	5.8	7.4	24.7	4.7	13.2	2.1
最 長 職 業 別	自営業（家族従業者を含む。）	100.0 (338)	70.1	3.0	5.9	11.2	3.3	3.6	3.0
	正規の職員・従業員	100.0 (545)	14.7	23.7	5.5	44.0	6.2	4.2	1.7
	会社などの役員	100.0 (115)	8.7	5.2	68.7	8.7	2.6	5.2	0.9
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (164)	3.7	－	－	87.8	3.7	3.7	1.2
	家事専業（専業主婦・主夫）	100.0 (44)	20.5	9.1	11.4	31.8	2.3	22.7	2.3
	その他の就業	100.0 (19)	21.1	10.5	－	－	－	63.2	5.3

4 仕事をしている理由〔複数回答〕

仕事をしている理由は、「収入を得たいから」の割合が最も高く、74.5%

収入のある仕事をしている人（1,237人）に仕事をしている理由を聞いたところ、「収入を得たいから」の割合が74.5%で最も高く、次いで「健康に良いから」が40.7%となっている。（図10-6）

図10-6 仕事をしている理由〔複数回答〕一過去調査との比較



(1) 仕事をしている理由〔複数回答〕

一性・年齢階級、健康状態、現在の仕事の就労形態別

仕事をしている理由は、男女とも、「収入を得たいから」の割合が最も高く、それぞれ 77.7%、69.4%

仕事をしている理由を性別でみると、男女とも、「収入を得たいから」の割合が最も高く（男性 77.7%、女性 69.4%）、次いで「健康に良いから」（男性 42.4%、女性 38.2%）となっている。

性・年齢階級別にみると、男女とも、いずれの年齢階級においても、「収入を得たいから」の割合が最も高く（54.2%～85.8%）、特に 65～69 歳の年齢階級では、男性 85.8%、女性 80.2%と 8 割を超えている。

現在の仕事内容別にみると、「収入を得たいから」の割合は、正規の職員・従業員が 86.2%、契約・派遣・臨時・パートが 82.9%と 8 割を超えている。（表 10-3）

表 10-3 仕事をしている理由〔複数回答〕

一性・年齢階級、健康状態、現在の仕事の就労形態別

		総 数	収 入 を 得 た い か ら	健 康 に 良 い か ら	生 か し た い る か ら 能 力 を	生 き が い を 得 た い	社 会 の 役 に 立 ち た い	社 会 と つ な が つ て	友 人 が ほ し い か ら	退 屈 だ か ら い る	そ の 他	無 回 答
総 数		100.0 (1,237)	74.5	40.7	32.6	28.1	25.4	31.6	5.3	23.1	5.0	4.4
性・年齢階級別	男	100.0 (753)	<u>77.7</u>	<u>42.4</u>	35.5	27.8	28.0	30.3	5.7	26.0	3.2	3.9
	65～69歳	100.0 (281)	<u>85.8</u>	40.6	42.7	27.8	32.0	30.6	5.3	26.0	2.1	2.1
	70～74歳	100.0 (218)	<u>81.2</u>	47.7	31.2	29.4	26.1	31.7	6.4	33.0	1.4	3.2
	75歳以上	100.0 (254)	<u>65.7</u>	39.8	31.1	26.4	25.2	28.7	5.5	20.1	5.9	6.3
	女	100.0 (484)	<u>69.4</u>	<u>38.2</u>	28.1	28.5	21.3	33.7	4.5	18.6	7.9	5.4
	65～69歳	100.0 (172)	<u>80.2</u>	35.5	30.8	27.3	23.8	38.4	2.9	21.5	8.1	2.9
	70～74歳	100.0 (122)	<u>77.9</u>	40.2	22.1	24.6	18.0	36.1	4.1	14.8	4.9	3.3
	75歳以上	100.0 (190)	<u>54.2</u>	39.5	29.5	32.1	21.1	27.9	6.3	18.4	9.5	8.9
健康状態別	よい	100.0 (259)	71.0	46.3	45.9	40.2	37.1	35.1	7.7	21.2	6.6	1.2
	まあよい	100.0 (317)	76.3	46.4	35.3	27.8	27.8	38.5	4.7	28.4	6.6	1.9
	ふつう	100.0 (456)	80.7	40.6	26.5	24.1	21.1	28.3	5.0	22.1	3.9	1.3
	あまりよくない	100.0 (147)	78.9	32.7	29.3	26.5	18.4	28.6	4.8	24.5	4.1	0.7
	よくない	100.0 (13)	46.2	7.7	46.2	23.1	23.1	23.1	—	15.4	—	15.4
現在の仕事の就労形態別	自営業（家族従業者を含む。）	100.0 (347)	69.7	28.2	34.3	29.7	21.0	23.9	4.3	14.1	8.1	5.8
	正規の職員・従業員	100.0 (152)	<u>86.2</u>	42.1	49.3	32.9	28.9	36.2	7.2	32.2	4.6	1.3
	会社などの役員	100.0 (135)	59.3	23.7	40.0	33.3	32.6	25.2	2.2	14.8	8.1	4.4
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (449)	<u>82.9</u>	53.2	26.7	26.7	24.7	39.0	6.2	29.8	1.3	2.4
	シルバー人材センターの会員	100.0 (55)	76.4	74.5	7.3	14.5	36.4	40.0	7.3	30.9	1.8	1.8
	その他	100.0 (73)	53.4	27.4	30.1	23.3	26.0	23.3	2.7	16.4	11.0	11.0

5 非就業者の今後の就業意向

(1) 非就業者の今後の就業意向と頻度一性・年齢階級、世帯の貯蓄別

今後、「仕事をしたいと思う」人の割合は17.5%、今後も「仕事をしたいと思わない」人の割合は50.3%

収入のある仕事をしていない人(2,071人)に、今後、収入を得られる仕事をしたいか聞いたところ、「仕事をしたいと思わない」の割合が50.3%で最も高く、次いで「健康上の理由などで仕事をする事ができない」が19.0%、「仕事をしたいと思う」が17.5%となっている。

性・年齢階級別にみると、「仕事をしたいと思う」の割合は、65歳～69歳では、男性40.3%、女性31.9%となっている。(表10-4)

表10-4 非就業者の今後の就業意向と頻度一性・年齢階級、世帯の貯蓄別

	総数	仕事をしたいと思う	週5日仕事をした と思う	週3日～4日仕事をした と思う	週1日～2日仕事をした と思う	月1日～2日仕事をした と思う	仕事をしたいと思 わない	仕事をする理由な い	健康上の理由など で	無回答
総数	100.0 (2,071)	17.5	0.5	4.6	9.6	2.8	50.3	19.0		13.2
性・年齢階級別	男	100.0 (891)	19.8	0.8	7.2	10.0	1.8	52.3	19.1	8.9
	65～69歳	100.0 (124)	40.3	2.4	22.6	13.7	1.6	41.9	13.7	4.0
	70～74歳	100.0 (174)	21.3	0.6	5.7	13.2	1.7	54.6	21.3	2.9
	75～79歳	100.0 (249)	16.5	0.8	5.2	8.8	1.6	57.4	19.7	6.4
	80～84歳	100.0 (187)	17.6	0.5	5.9	9.1	2.1	54.5	18.7	9.1
	85歳以上	100.0 (157)	9.6	—	1.3	6.4	1.9	47.1	20.4	22.9
	女	100.0 (1,180)	15.8	0.3	2.7	9.2	3.6	48.7	18.9	16.5
	65～69歳	100.0 (138)	31.9	—	4.3	21.7	5.8	45.7	17.4	5.1
	70～74歳	100.0 (210)	23.3	1.0	5.7	11.4	5.2	58.6	11.4	6.7
	75～79歳	100.0 (312)	18.6	—	3.8	10.9	3.8	52.2	18.6	10.6
	80～84歳	100.0 (229)	9.2	0.4	0.4	4.4	3.9	52.0	23.6	15.3
	85歳以上	100.0 (291)	5.2	0.3	0.3	3.8	0.7	36.8	21.6	36.4
世帯の貯蓄別	貯蓄はない	100.0 (220)	19.5	1.8	7.7	7.7	2.3	30.9	30.0	19.5
	100万円未満	100.0 (143)	21.0	0.7	4.9	10.5	4.9	28.0	33.6	17.5
	100万円以上 200万円未満	100.0 (122)	23.8	1.6	5.7	12.3	4.1	44.3	19.7	12.3
	200万円以上 300万円未満	100.0 (91)	16.5	—	9.9	5.5	1.1	40.7	24.2	18.7
	300万円以上 400万円未満	100.0 (84)	15.5	—	1.2	9.5	4.8	44.0	28.6	11.9
	400万円以上 500万円未満	100.0 (101)	25.7	1.0	5.9	13.9	5.0	38.6	19.8	15.8
	500万円以上 1,000万円未満	100.0 (285)	19.6	0.4	4.6	11.9	2.8	51.6	17.9	10.9
	1,000万円以上 2,000万円未満	100.0 (310)	19.4	0.3	4.2	12.3	2.6	55.5	14.2	11.0
	2,000万円以上 3,000万円未満	100.0 (179)	17.3	—	5.6	8.4	3.4	59.2	11.2	12.3
	3,000万円以上	100.0 (374)	12.0	0.3	2.7	7.0	2.1	71.4	9.9	6.7

6 就業意向はあるが就業していない理由

(1) 就業意向はあるが就業していない理由一性、年齢階級、最長職業別

就業意向はあるが就業していない理由は、「希望や条件に合う働くところがないから」の割合が最も高く、約3割

収入のある仕事をしたいと思っている人（363人）に、仕事をしていない理由を聞いたところ、「希望や条件に合う働くところがないから」の割合が29.8%で最も高く、次いで「年齢制限で働くところが見つからないから」が25.9%となっている。

年齢階級別にみると、75～84歳及び85歳以上では「年齢制限で働くところが見つからないから」の割合が最も高くなっている（35.9%、56.7%）。（表10-5）

表10-5 就業意向はあるが就業していない理由一性、年齢階級、最長職業別

		総 数	希望 や条 件に 合っ た働 くこ ろが ない から	年 齢制 限で 働く ところ が 見つ からない	体 力的 に働 くのは きつ いから	家事・ 育児・ 介護 に従事 して いない	そ の 他	特 に理 由は ない	無 回 答
総数		100.0 (363)	29.8	25.9	11.8	8.0	5.8	14.6	4.1
性 別	男	100.0 (176)	34.1	25.0	8.5	6.8	4.5	17.0	4.0
	女	100.0 (187)	25.7	26.7	15.0	9.1	7.0	12.3	4.3
年 齢 階 級 別	65～74歳	100.0 (180)	35.0	12.2	10.0	12.2	10.0	17.8	2.8
	75～84歳	100.0 (153)	27.5	35.9	13.7	4.6	2.0	11.1	5.2
	85歳以上	100.0 (30)	10.0	56.7	13.3	—	—	13.3	6.7
最 長 職 業 別	自営業（家族従業者を含む。）	100.0 (56)	12.5	41.1	16.1	3.6	1.8	17.9	7.1
	正規の職員・従業員	100.0 (203)	36.9	25.1	8.4	6.9	6.9	13.3	2.5
	会社などの役員	100.0 (15)	26.7	26.7	—	—	6.7	26.7	13.3
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (47)	25.5	23.4	19.1	10.6	6.4	10.6	4.3
	家事専業（専業主婦・主夫）	100.0 (37)	27.0	8.1	21.6	16.2	5.4	18.9	2.7

（注）最長職業のうち、「その他の就業」については、母集団が2人のため省略した。

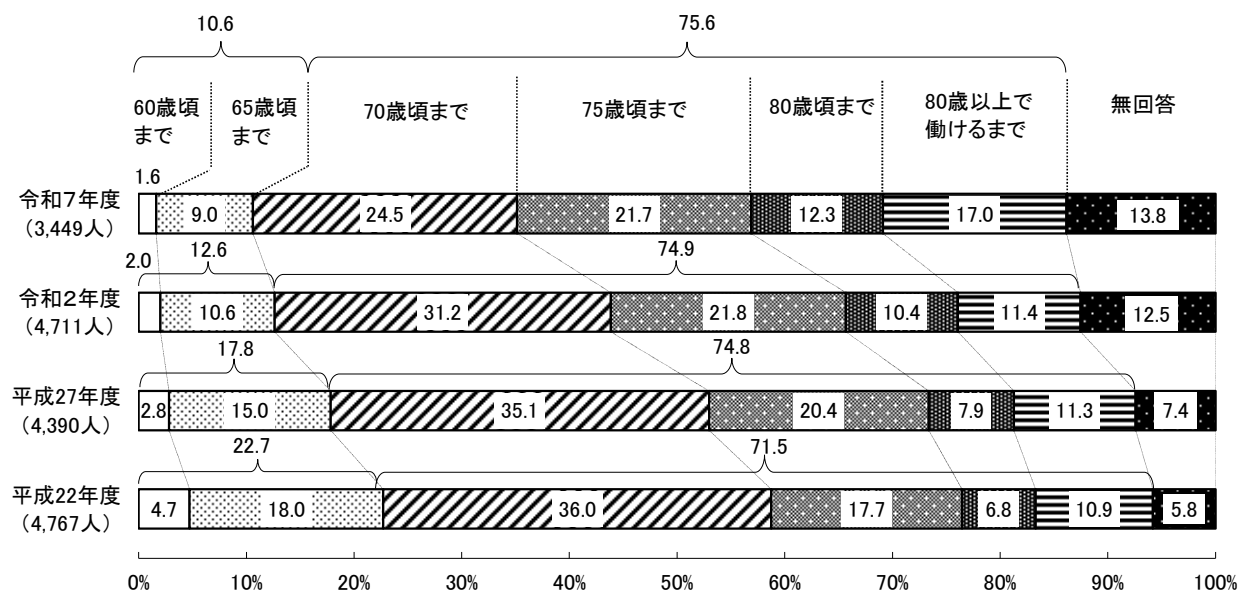
7 理想の就業年齢（何歳頃まで働ける社会が理想か）

理想の就業年齢は、「70 歳頃まで」の割合が最も高く、24.5%

何歳頃まで働ける社会が理想であるか聞いたところ、「70 歳頃まで」の割合が 24.5%で最も高く、次いで「75 歳頃まで」が 21.7%となっている。

「70 歳頃まで」、「75 歳頃まで」、「80 歳頃まで」、「80 歳以上で働けるまで」を合わせた割合は 75.6%となっている。一方、「60 歳頃まで」と「65 歳頃まで」を合わせた割合は 10.6%となっている。（図 10-7）

図 10-7 理想の就業年齢（何歳頃まで働ける社会が理想か）－過去調査との比較



(1) 理想の就業年齢（何歳頃まで働ける社会が理想か）－性・年齢階級、最長職業別

「70 歳頃まで」働ける社会が理想の割合が最も高く、男性 24.7%、女性 24.4%

何歳頃まで働ける社会が理想かを性別でみると、男女とも「70 歳頃まで」の割合が最も高くなっている（男性 24.7%、女性 24.4%）。

性・年齢階級別にみると、70～74 歳男性及び 65～69 歳女性を除く全ての年齢階級で「70 歳頃まで」の割合が最も高くなっている（16.4%～32.6%）。また、70～74 歳男性及び 65～69 歳女性では「75 歳頃まで」の割合が最も高くなっている（29.9%、32.3%）。
（表 10-6）

表 10-6 理想の就業年齢（何歳頃まで働ける社会が理想か）－性・年齢階級、最長職業別

		総 数	60 歳 頃 ま で	65 歳 頃 ま で	70 歳 頃 ま で	75 歳 頃 ま で	80 歳 頃 ま で	80 歳 以 上 で 働 け る ま で	無 回 答
総数		100.0 (3,449)	1.6	9.0	24.5	21.7	12.3	17.0	13.8
性・ 年 齢 階 級 別	男	100.0 (1,708)	1.9	9.1	<u>24.7</u>	21.5	13.3	18.6	10.9
	65～69歳	100.0 (414)	1.7	10.6	<u>32.6</u>	28.3	9.9	12.6	4.3
	70～74歳	100.0 (401)	3.2	9.0	20.4	<u>29.9</u>	14.7	15.7	7.0
	75～79歳	100.0 (438)	1.8	11.6	<u>21.5</u>	13.5	18.0	22.4	11.2
	80～84歳	100.0 (257)	1.2	6.6	<u>24.1</u>	18.3	10.1	26.5	13.2
	85歳以上	100.0 (198)	0.5	3.5	<u>24.7</u>	12.1	11.6	18.2	29.3
	女	100.0 (1,741)	1.4	8.9	<u>24.4</u>	21.9	11.2	15.6	16.7
	65～69歳	100.0 (325)	0.6	9.5	29.8	<u>32.3</u>	6.2	14.2	7.4
	70～74歳	100.0 (344)	1.2	8.1	<u>26.2</u>	21.8	15.1	16.9	10.8
	75～79歳	100.0 (437)	1.6	8.9	<u>24.0</u>	21.7	16.7	16.9	10.1
	80～84歳	100.0 (294)	1.7	8.2	<u>25.9</u>	19.7	8.8	18.4	17.3
	85歳以上	100.0 (341)	1.8	9.7	<u>16.4</u>	14.4	7.0	11.4	39.3
最 長 職 業 別	自営業(家族従業者を含む。)	100.0 (684)	1.2	5.3	19.0	18.6	16.5	24.0	15.5
	正規の職員・従業員	100.0 (1,492)	1.8	11.5	29.1	25.1	10.7	15.9	5.8
	会社などの役員	100.0 (203)	0.5	5.4	23.6	20.7	17.7	23.6	8.4
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (385)	1.6	6.8	21.3	24.2	15.3	19.7	11.2
	家事専業(専業主婦・主夫)	100.0 (447)	2.5	11.6	28.2	20.4	9.2	10.1	18.1
	仕事に就いたことはない	100.0 (19)	－	15.8	26.3	10.5	10.5	5.3	31.6
	その他の就業	100.0 (54)	－	14.8	24.1	16.7	13.0	22.2	9.3

8 収入の種類〔複数回答〕・主な収入源

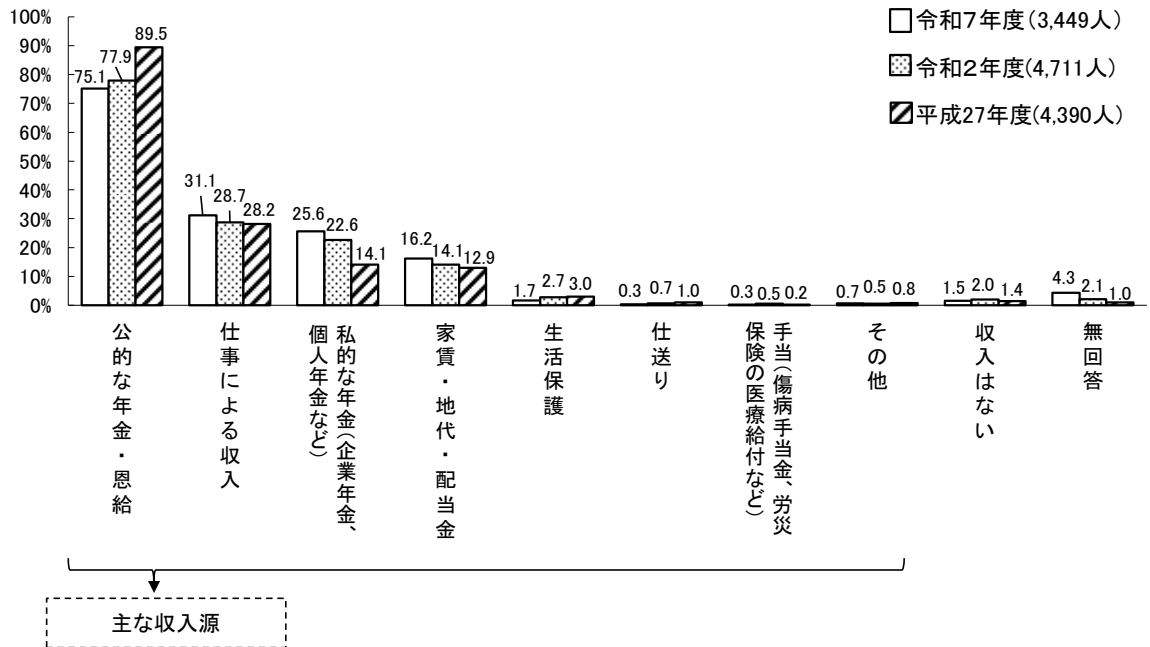
主な収入源は、「公的な年金・恩給」の割合が最も高く、7割超

令和6年（2024年）中の収入の種類を聞いたところ、「公的な年金・恩給」の割合が75.1%で最も高く、次いで「仕事による収入」が31.1%、「私的な年金（企業年金、個人年金など）」が25.6%となっている。

令和2年度調査と比べて、「公的な年金・恩給」の割合は2.8ポイント減少している一方、「私的な年金（企業年金、個人年金など）」が3.0ポイント増加している。

また、収入がある人（3,248人）に主な収入源を聞いたところ、「公的な年金・恩給」の割合が59.3%で最も高く、次いで「仕事による収入」が19.5%となっている。（図10-8）

図10-8 収入の種類〔複数回答〕・主な収入源 一過去調査との比較



	総 数	公 的 な 年 金 ・ 恩 給	仕 事 に よ る 収 入	私 的 な 年 金 （ 企 業 年 金 ・ 個 人 年 金 な ど ）	家 賃 ・ 地 代 ・ 配 当 金	生 活 保 護	仕 送 り	手 当 （ 傷 病 手 当 金 ・ 労 災 保 険 の 医 療 給 付 な ど ）	そ の 他	無 回 答
令和7年度	100.0 (3,248)	59.3	19.5	7.4	6.4	1.4	0.2	0.1	0.3	5.5
令和2年度	100.0 (4,515)	60.0	16.9	6.8	5.3	2.1	0.2	0.2	0.3	8.2
平成27年度	100.0 (4,283)	69.9	16.3	2.2	6.9	2.6	0.3	-	0.4	1.4

(1) 収入の種類〔複数回答〕

一性・年齢階級、世帯構成（世代）、現在の仕事の有無と就労形態別

男女とも、いずれの年齢階級においても現在の収入は、「公的な年金・恩給」の割合が最も高い

収入の種類を性・年齢階級別にみると、65～69 歳男性を除く全ての年齢階級において、「公的な年金・恩給」の割合が最も高くなっている（64.6%～83.3%）。また、65～69 歳の男性では、「仕事による収入」の割合は 65.2%となっている。

世帯構成（世代）別にみると、単身世帯（ひとりぐらし）では、「生活保護」の割合が 4.8%で、総数の割合（1.7%）より高くなっている。

現在の仕事の有無と就労形態別にみると、シルバー人材センターの会員の人では「私的な年金（企業年金、個人年金など）」の割合が 38.2%で、総数の割合（25.6%）より高くなっている。（表 10-7）

表 10-7 収入の種類〔複数回答〕

一性・年齢階級、世帯構成（世代）、現在の仕事の有無と就労形態別

		総数	公的な年金・恩給	私的な年金（企業年金、個人年金など）	仕事による収入	家賃・地代・配当金	仕送り	手当（傷病手当金、労災保険の医療給付など）	生活保護	その他	収入はない	無回答
総数		100.0 (3,449)	75.1	25.6	31.1	16.2	0.3	0.3	1.7	0.7	1.5	4.3
性・年齢階級別	男	100.0 (1,708)	75.4	28.7	38.8	20.0	0.2	0.2	2.1	0.6	1.1	3.9
	65～69歳	100.0 (414)	64.5	31.6	65.2	19.8	0.2	-	2.4	0.7	0.7	1.4
	70～74歳	100.0 (401)	78.8	29.9	47.9	20.9	0.2	0.5	2.0	0.7	1.0	3.2
	75～79歳	100.0 (438)	76.9	27.9	32.9	20.3	-	0.2	1.4	0.7	1.4	5.9
	80～84歳	100.0 (257)	78.6	28.0	16.7	20.6	0.4	-	3.5	-	1.6	3.9
	85歳以上	100.0 (198)	83.3	23.2	6.6	16.7	-	-	1.5	0.5	1.0	6.1
	女	100.0 (1,741)	74.9	22.6	23.7	12.6	0.5	0.3	1.3	0.8	2.0	4.7
	65～69歳	100.0 (325)	64.6	27.1	51.4	6.5	0.3	0.6	0.6	0.6	2.2	5.2
	70～74歳	100.0 (344)	75.9	26.5	31.4	10.5	-	-	2.6	0.3	0.9	4.7
	75～79歳	100.0 (437)	77.6	25.4	19.5	15.3	0.5	0.5	1.4	1.4	2.1	2.1
	80～84歳	100.0 (294)	77.2	16.7	12.9	17.3	1.7	-	1.4	1.4	2.0	5.1
	85歳以上	100.0 (341)	78.3	15.8	4.1	12.9	0.3	0.6	0.6	0.3	2.6	7.0
(世帯)別	単身世帯（ひとりぐらし）	100.0 (1,004)	73.7	23.5	28.2	13.2	0.7	0.3	4.8	1.1	2.1	4.6
	一世代（配偶者と二人暮らし）	100.0 (1,214)	76.4	29.1	33.8	18.5	-	0.1	0.5	0.7	1.1	4.3
	二世代	100.0 (888)	75.0	23.6	32.4	16.7	0.6	0.5	0.3	0.6	1.5	3.7
	三世代	100.0 (178)	80.9	23.6	27.0	18.5	-	0.6	-	-	1.1	3.9
現在の仕事の有無と就労形態別	仕事をしている	100.0 (1,237)	65.6	27.7	80.8	21.9	0.2	0.2	0.6	0.8	0.2	1.1
	自営業（家族従業者を含む。）	100.0 (347)	59.9	31.7	74.4	38.0	0.3	0.3	0.3	0.9	0.6	1.7
	正規の職員・従業員	100.0 (152)	52.0	21.7	92.8	9.2	-	-	-	0.7	-	0.7
	会社などの役員	100.0 (135)	60.7	21.5	92.6	35.6	-	-	-	-	-	-
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (449)	71.9	27.6	85.5	9.1	0.2	0.2	1.1	0.2	-	0.4
	シルバー人材センターの会員	100.0 (55)	85.5	38.2	65.5	18.2	-	-	-	1.8	-	1.8
	その他	100.0 (73)	76.7	32.9	52.1	30.1	-	-	-	5.5	-	2.7
	仕事をしていない	100.0 (2,071)	84.8	25.7	3.3	13.5	0.4	0.3	2.4	0.7	2.5	1.4

(2) 主な収入源一性・年齢階級別

男女とも現在の収入は、「公的な年金・恩給」の割合が最も高いが、65～69 歳男性では「仕事による収入」が約5割

主な収入源を性別にみると、男女とも、「公的な年金・恩給」の割合が最も高くなっている（男性 55.2%、女性 63.4%）。

性・年齢階級別にみると、65～69 歳男性では、「仕事による収入」の割合が、48.6%で最も高くなっている。（表 10-8）

表 10-8 主な収入源一性・年齢階級別

		総数	公的な年金・恩給	私的な年金（企業年金、個人年金など）	仕事による収入	家賃・地代・配当金	仕送り	手当（傷病手当金、労災保険の医療給付など）	生活保護	その他	無回答
総数		100.0 (3,248)	59.3	7.4	19.5	6.4	0.2	0.1	1.4	0.3	5.5
性・年齢階級別	男	100.0 (1,622)	<u>55.2</u>	6.2	23.1	7.0	—	—	1.6	0.1	6.8
	65～69歳	100.0 (405)	37.0	4.2	<u>48.6</u>	4.4	—	—	1.7	—	4.0
	70～74歳	100.0 (384)	51.8	4.7	23.4	9.1	—	—	1.8	0.3	8.9
	75～79歳	100.0 (406)	60.3	7.1	15.8	7.9	—	—	1.2	0.2	7.4
	80～84歳	100.0 (243)	66.7	8.2	7.8	7.8	—	—	2.1	—	7.4
	85歳以上	100.0 (184)	76.1	9.2	2.2	4.9	—	—	1.1	—	6.5
	女	100.0 (1,626)	<u>63.4</u>	8.5	15.9	5.9	0.3	0.1	1.2	0.4	4.2
	65～69歳	100.0 (301)	46.8	5.3	40.2	2.3	0.3	0.3	0.7	0.7	3.3
	70～74歳	100.0 (325)	59.4	8.9	20.0	5.2	—	—	2.2	—	4.3
	75～79歳	100.0 (419)	63.5	10.0	11.5	6.7	0.5	0.2	1.2	0.5	6.0
	80～84歳	100.0 (273)	69.6	9.2	6.6	8.4	0.4	—	1.5	1.1	3.3
	85歳以上	100.0 (308)	78.2	8.4	2.3	6.8	0.3	—	0.6	—	3.2

(3) 主な収入源－現在の仕事の有無と就労形態、本人の年収別

年収が 500 万円未満の人は、主な収入源が「公的な年金・恩給」の割合が最も高い

主な収入源を現在の仕事の有無別にみると、仕事をしている人は「仕事による収入」である割合は 48.2%となっている。

現在の仕事の就労形態別にみると、自営業（家族従業者を含む。）、正規の職員・従業員、会社などの役員、契約・派遣・臨時・パートでは「仕事による収入」の割合が最も高いが（46.3%～73.5%）、シルバー人材センターの会員では、「公的な年金・恩給」の割合が 70.4%と最も高くなっている。

本人の年収別にみると、年収が 500 万円未満の人は「公的な年金・恩給」の割合が最も高くなっている（49.7%～77.6%）。一方、年収が 500 万円以上の人は「仕事による収入」の割合が最も高くなっている（45.6%～50.8%）。(表 10-9)

表 10-9 主な収入源－現在の仕事の有無と就労形態、本人の年収別

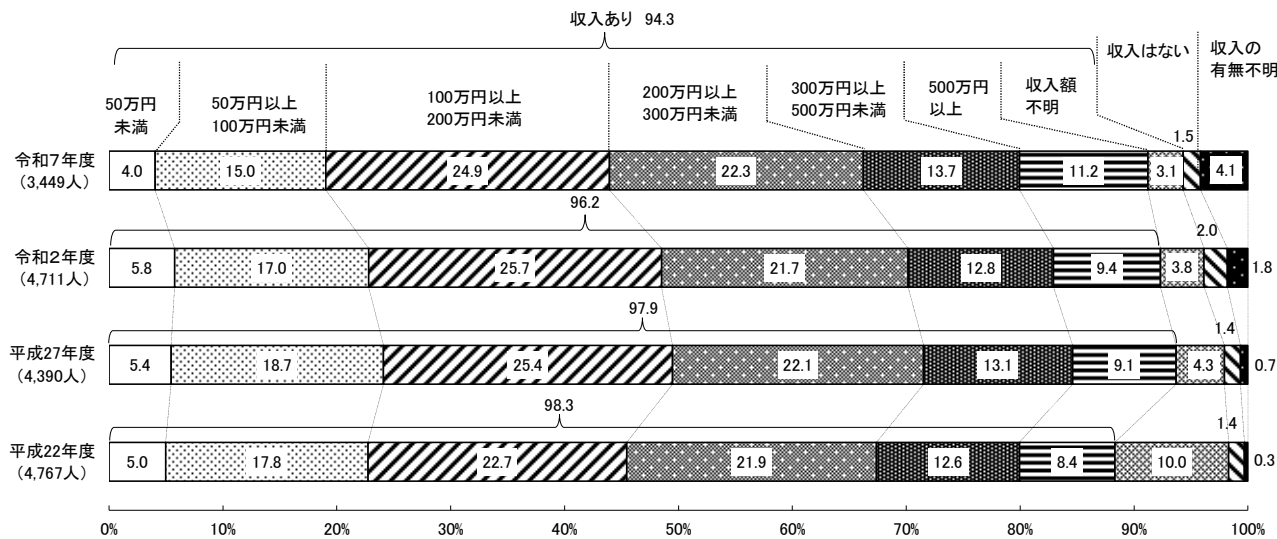
		総 数	公 的 な 年 金 ・ 恩 給	個 人 私 的 な 年 金 （ 企 業 年 金 ・ 等 ）	仕 事 に よ る 収 入	家 賃 ・ 地 代 ・ 配 当 金	仕 送 り	保 険 （ 傷 病 手 当 金 ・ 労 災 保 険 の 医 療 給 付 な ど ）	生 活 保 護	そ の 他	無 回 答
総数		100.0 (3,248)	59.3	7.4	19.5	6.4	0.2	0.1	1.4	0.3	5.5
現 在 の 仕 事 の 有 無 と 就 労 形 態 別	仕事をしている	100.0 (1,222)	29.1	3.7	<u>48.2</u>	9.5	0.1	0.1	0.3	0.2	8.9
	自営業 （家族従業者を含む。）	100.0 (339)	17.4	4.1	<u>46.3</u>	20.9	－	－	0.3	0.3	10.6
	正規の職員・従業員	100.0 (151)	14.6	2.0	<u>73.5</u>	1.3	－	－	－	－	8.6
	会社などの役員	100.0 (135)	19.3	1.5	<u>60.7</u>	11.9	－	－	－	－	6.7
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (447)	39.6	3.8	<u>46.5</u>	1.8	－	0.2	0.4	－	7.6
	シルバー人材センターの 会員	100.0 (54)	<u>70.4</u>	9.3	9.3	1.9	－	－	－	－	9.3
	その他	100.0 (71)	40.8	5.6	19.7	22.5	－	－	－	1.4	9.9
	仕事をしていない	100.0 (1,992)	78.1	9.5	2.2	4.4	0.2	0.1	2.0	0.4	3.2
本 人 の 年 収 別	50万円未満	100.0 (138)	<u>64.5</u>	13.0	10.1	2.2	0.7	－	4.3	1.4	3.6
	50万円以上 100万円未満	100.0 (517)	<u>77.6</u>	9.3	7.4	0.8	0.6	－	1.5	0.2	2.7
	100万円以上 150万円未満	100.0 (437)	<u>70.5</u>	8.2	11.4	2.3	0.2	0.2	2.1	0.2	4.8
	150万円以上 200万円未満	100.0 (419)	<u>65.9</u>	5.7	15.8	4.1	－	－	2.4	－	6.2
	200万円以上 250万円未満	100.0 (428)	<u>69.2</u>	8.4	15.0	2.1	－	0.2	0.2	－	4.9
	250万円以上 300万円未満	100.0 (340)	<u>65.3</u>	6.8	17.9	4.4	－	－	－	－	5.6
	300万円以上 500万円未満	100.0 (473)	<u>49.7</u>	5.3	29.2	7.4	－	－	－	－	8.5
	500万円以上 700万円未満	100.0 (160)	23.8	4.4	<u>45.6</u>	17.5	－	－	－	－	8.8
	700万円以上 1000万円未満	100.0 (98)	9.2	7.1	<u>50.0</u>	28.6	－	－	－	－	5.1
	1,000万円以上	100.0 (130)	3.1	0.8	<u>50.8</u>	36.2	－	－	－	2.3	6.9

9 本人の年収

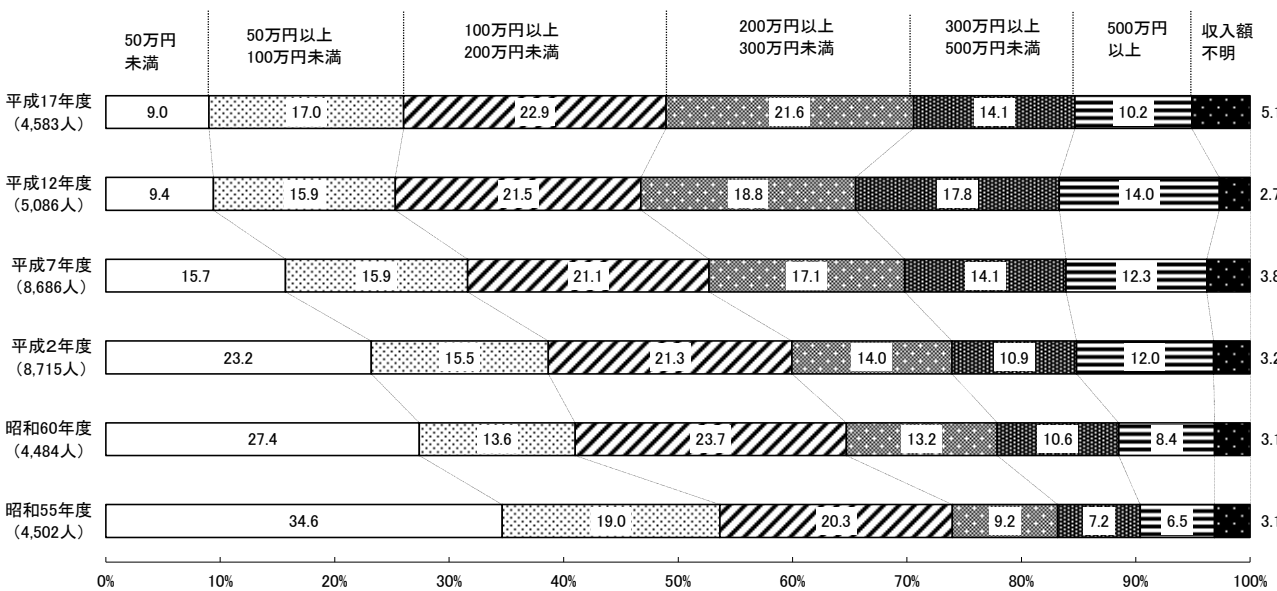
年収は「100 万円以上 200 万円未満」の割合が最も高く、24.9%

対象者個人の令和6年（2024年）中の総収入（税込み）を聞いたところ、「100 万円以上 200 万円未満」の割合が24.9%で最も高く、次いで「200 万円以上 300 万円未満」が22.3%、「50 万円以上 100 万円未満」が15.0%となっている。（図10-9）

図10-9 本人の年収－過去調査との比較



【参考】



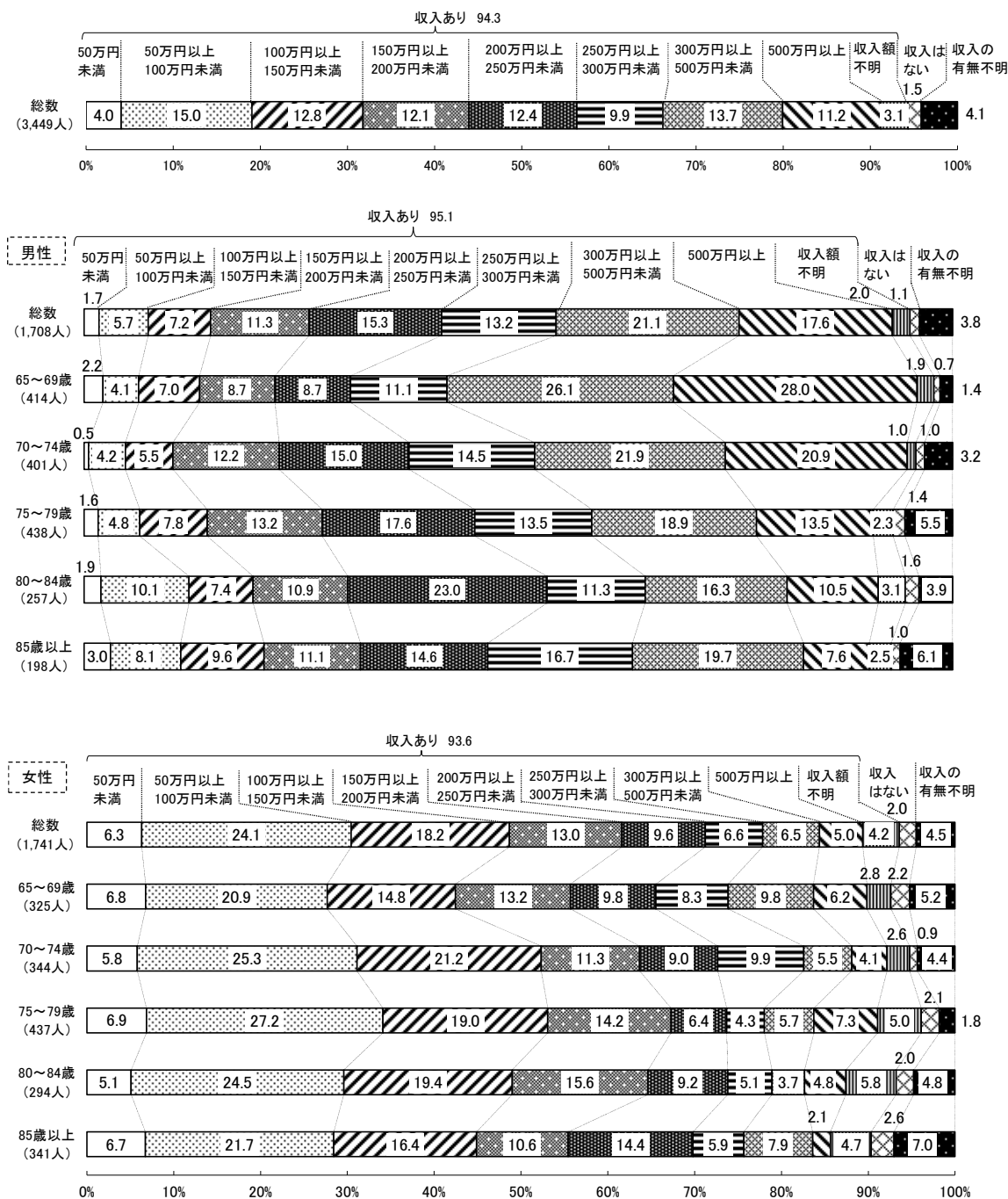
（注）平成17年度調査以前は、質問方法が異なるため、収入のない人は、「50 万円未満」又は「収入額不明」に含まれる。

(1) 本人の年収一性・年齢階級別

年収は、男性では「300 万円以上 500 万円未満」の割合が最も高く、21.1%
女性では「50 万円以上 100 万円未満」の割合が最も高く、24.1%

本人の年収を性別でみると、男性では、「300 万円以上 500 万円未満」の割合が 21.1%で最も高く、次いで「500 万円以上」が 17.6%、「200 万円以上 250 万円未満」が 15.3%となっている。一方、女性では、「50 万円以上 100 万円未満」の割合が 24.1%で最も高く、次いで「100 万円以上 150 万円未満」が 18.2%、「150 万円以上 200 万円未満」が 13.0%となっている。(図 10-10)

図 10-10 本人の年収一性・年齢階級別



(2) 本人の年収－現在の仕事の有無と就労形態別

仕事をしている人の年収は「300 万円以上 500 万円未満」の割合が最も高く、22.7%
 仕事をしていない人は「50 万円以上 100 万円未満」の割合が最も高く、20.1%

本人の年収を現在の仕事の有無別にみると、仕事をしている人は「300 万円以上 500 万円未満」の割合が 22.7%で最も高く、仕事をしていない人は「50 万円以上 100 万円未満」の割合が 20.1%で最も高くなっている。

現在の仕事の就労形態別にみると、「年収 250 万円以上」の割合は、正規の職員・従業員では 79.6%、会社などの役員では 88.1%となっている。一方、「年収 250 万円未満」の割合は、契約・派遣・臨時・パートでは 52.8%、シルバー人材センターの会員では 65.5%となっている。(表 10-10)

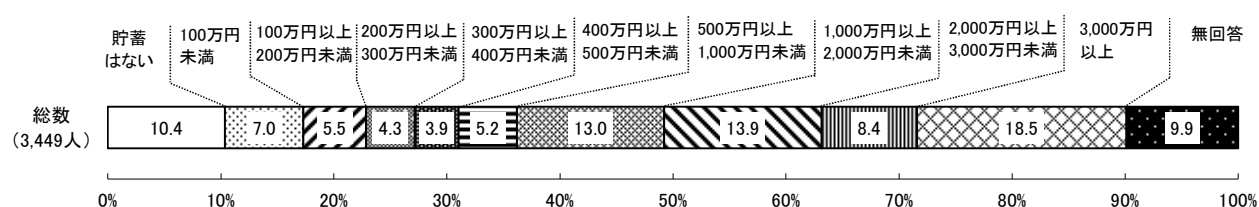
表 10-10 本人の年収－現在の仕事の有無と就労形態別

		総 数	収入 がある	50 万円 未満	50 万円 以上 100 万円 未満	100 万円 以上 150 万円 未満	150 万円 以上 200 万円 未満	200 万円 以上 250 万円 未満	250 万円 以上 300 万円 未満	300 万円 以上 500 万円 未満	500 万円 以上 700 万円 未満	700 万円 以上 1,000 万円 未満	1,000 万円 以上	無 回 答	収入 はない	収入 の有無不 明
総数		100.0 (3,449)	94.3	4.0	15.0	12.8	12.1	12.4	9.9	13.7	4.6	2.8	3.8	3.1	1.5	4.1
現在の 仕事の 有無と 就労形 態別	仕事をしている	100.0 (1,237)	98.9	2.5	7.6	8.5	11.2	9.9	10.5	<u>22.7</u>	9.5	5.5	8.8	2.1	0.2	1.0
	自営業 (家族従業者を含む。)	100.0 (347)	98.0	3.2	9.2	7.5	11.2	6.9	8.1	17.3	8.9	5.5	15.3	4.9	0.6	1.4
	正規の職員・従業員	100.0 (152)	99.3	0.7	2.0	3.3	4.6	8.6	<u>14.5</u>	<u>31.6</u>	<u>19.1</u>	<u>10.5</u>	<u>3.9</u>	0.7	-	0.7
	会社などの役員	100.0 (135)	100.0	-	2.2	0.7	4.4	3.7	<u>4.4</u>	<u>22.2</u>	<u>17.8</u>	<u>14.8</u>	<u>28.9</u>	0.7	-	-
	契約・派遣・臨時・パート	100.0 (449)	99.6	<u>2.7</u>	<u>8.9</u>	<u>12.9</u>	<u>14.3</u>	<u>14.0</u>	12.7	24.7	6.0	1.8	0.7	0.9	-	0.4
	シルバー人材センター の会員	100.0 (55)	98.2	<u>3.6</u>	<u>14.5</u>	<u>9.1</u>	<u>16.4</u>	<u>21.8</u>	14.5	14.5	1.8	-	-	1.8	-	1.8
	その他	100.0 (73)	97.3	4.1	9.6	12.3	12.3	5.5	8.2	21.9	8.2	5.5	8.2	1.4	-	2.7
	仕事をしていない	100.0 (2,071)	96.4	5.0	<u>20.1</u>	15.8	13.4	14.7	10.1	9.3	2.0	1.4	1.0	3.6	2.5	1.2

10 世帯の貯蓄

対象者の世帯の貯蓄（預貯金・信託・債権・株式・保険など）はおおよそいくらか聞いたところ、「3,000 万円以上」の割合が 18.5%で最も高く、次いで「1,000 万円以上 2,000 万円未満」が 13.9%、「500 万円以上 1,000 万円未満」が 13.0%となっている。一方、「貯蓄はない」の割合は 10.4%となっている。（図 10-11）

図 10-11 世帯の貯蓄



(1) 世帯の貯蓄一性・年齢階級、世帯類型別

ひとりぐらしの世帯では、「貯蓄はない」割合が14.1%

世帯の貯蓄を性別でみると、「3,000万円以上」の割合は、男性21.5%、女性15.6%となっている。

世帯類型別でみると、ひとりぐらしの世帯では、「貯蓄はない」割合が14.1%と他の世帯類型と比べ、高くなっている。(表10-11)

表10-11 世帯の貯蓄一性・年齢階級、世帯類型別

	総数	貯蓄はない	100万円未満	100万円以上 200万円未満	200万円以上 300万円未満	300万円以上 400万円未満	400万円以上 500万円未満	500万円以上 1,000万円未満	1,000万円以上 2,000万円未満	2,000万円以上 3,000万円未満	3,000万円以上	無回答
総数	100.0 (3,449)	10.4	7.0	5.5	4.3	3.9	5.2	13.0	13.9	8.4	18.5	9.9
男	100.0 (1,708)	9.7	6.4	5.4	4.2	4.2	5.0	13.8	13.4	8.8	21.5	7.7
65～69歳	100.0 (414)	8.9	7.0	4.8	4.1	4.3	5.6	12.1	12.6	9.9	26.6	4.1
70～74歳	100.0 (401)	9.0	5.7	5.2	4.2	3.0	6.2	12.7	17.2	7.5	23.7	5.5
75～79歳	100.0 (438)	9.6	6.6	4.6	4.3	3.7	4.8	15.3	11.2	10.5	19.6	9.8
80～84歳	100.0 (257)	12.8	5.8	6.2	3.9	6.2	3.5	14.4	14.0	7.0	17.5	8.6
85歳以上	100.0 (198)	9.1	6.6	8.1	4.0	4.5	3.5	15.2	11.6	8.1	15.7	13.6
女	100.0 (1,741)	11.0	7.5	5.6	4.5	3.6	5.3	12.3	14.4	8.0	15.6	12.1
65～69歳	100.0 (325)	13.2	4.3	4.6	4.0	3.4	5.5	12.9	12.9	7.4	17.8	13.8
70～74歳	100.0 (344)	10.2	8.4	4.7	2.6	2.6	5.5	12.8	14.8	6.7	20.3	11.3
75～79歳	100.0 (437)	10.3	7.8	4.8	5.3	4.6	3.9	11.2	16.0	9.2	17.6	9.4
80～84歳	100.0 (294)	11.6	7.5	7.1	4.8	2.0	4.8	11.2	16.0	10.5	12.2	12.2
85歳以上	100.0 (341)	10.0	9.4	7.3	5.6	4.7	7.3	13.8	12.0	6.5	9.1	14.4
世帯類型別												
高齢者のみの世帯	100.0 (2,206)	9.9	6.6	5.0	4.4	3.4	5.2	13.1	14.4	8.9	19.4	9.7
ひとりぐらし	100.0 (1,004)	14.1	8.2	6.9	5.2	3.6	5.1	11.9	13.2	8.0	13.9	10.0
配偶者と二人暮らし	100.0 (1,083)	6.0	4.3	3.2	3.3	3.5	5.2	14.3	15.2	9.7	24.9	10.2
その他	100.0 (119)	9.2	13.4	5.9	6.7	1.7	6.7	11.8	16.8	10.1	15.1	2.5
高齢者以外(65歳未満)がいる世帯	100.0 (1,139)	11.0	7.4	6.1	4.3	5.0	4.7	13.3	13.4	8.0	17.5	9.2

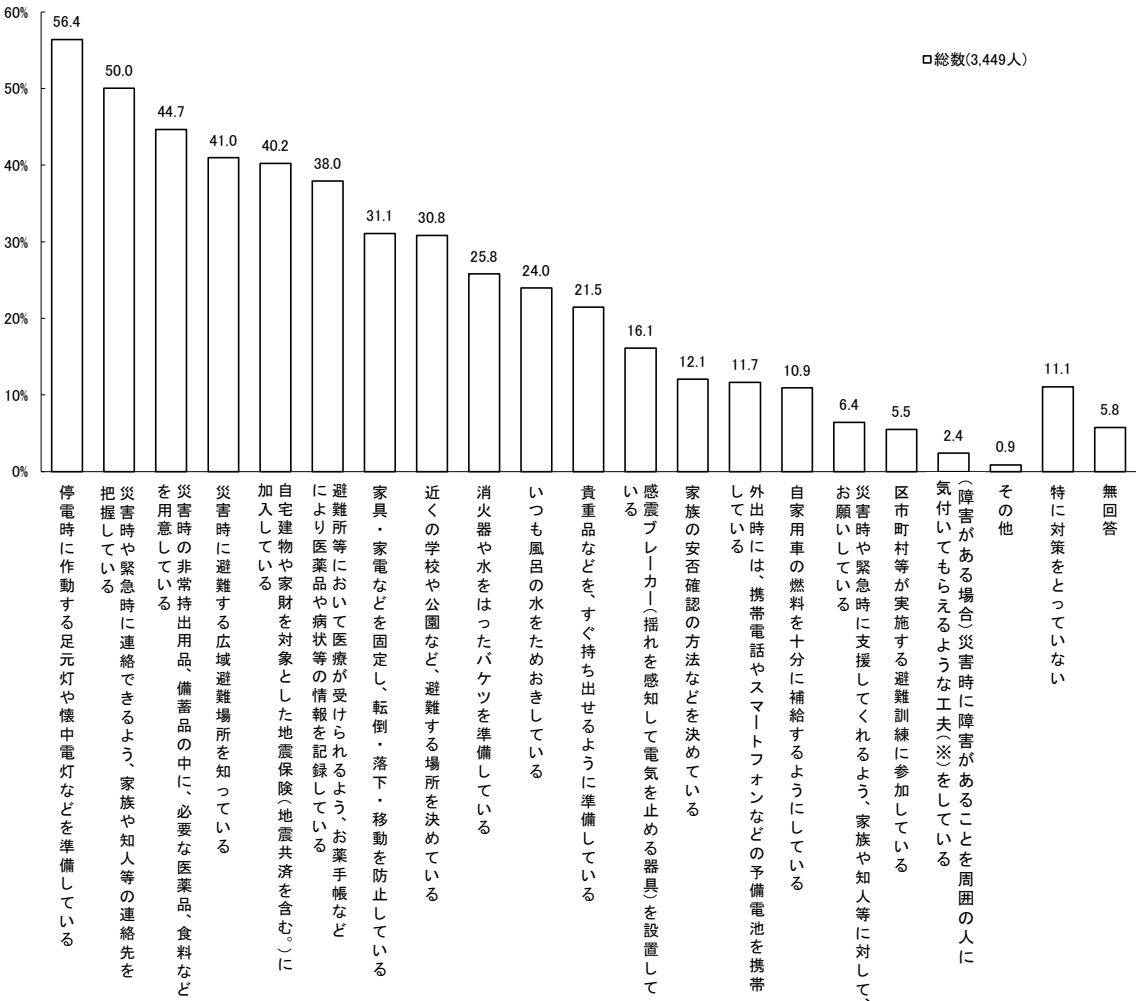
第 11 章 災害に備えた対策

1 災害に備えた対策〔複数回答〕

災害に備えた対策は、「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」の割合が最も高く、56.4%

災害に備えた対策をとっているか聞いたところ、「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」の割合が 56.4%で最も高く、次いで「災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している」が 50.0%となっている。一方、「特に対策をとっていない」の割合は 11.1%となっている。（図 11-1）

図 11-1 災害に備えた対策〔複数回答〕



（注）※の「障害があることを周囲の人に気付いてもらえるような工夫」とは、ヘルプマーク、ヘルプカード、災害バンダナなどを指す。

(1) 災害に備えた対策〔複数回答〕一性・年齢階級、動作能力類型、世帯類型別

男女とも災害に備えた対策は、「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」及び「災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している」の割合が高い

災害に備えた対策を性・年齢階級別にみると、男女とも「停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している」（男性 55.0%、女性 57.7%）の割合が最も高く、次いで「災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等の連絡先を把握している」（男性 51.0%、女性 49.1%）となっている。また、「特に対策をとっていない」の割合は、65歳～74歳では、男性 13.4%、女性 8.2%で男性の方が5.2ポイント高くなっている。

動作能力類型別でみると、寝たきり高齢者では、「特に対策をとっていない」の割合が32.3%で最も高くなっている。（表 11-1）

表 11-1 災害に備えた対策〔複数回答〕

一性・年齢階級、動作能力類型、世帯類型別

		総数	災害時の非常持出用品、備蓄用品の中に、必要な医薬品、食料などを用意している	自家用車の燃料を十分に補給するようにしている	いつも風呂の水をためおきしている	停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している	連絡先を把握している	災害時や緊急時に連絡できるよう、家族や知人等に対して、お願いしている	家族の安否確認の方法などを決めている	貴重品などを、すぐ持ち出せるように準備している	災害時に避難する広域避難場所を知っている	近くの学校や公園など、避難する場所を決めている	区市町村等が実施する避難訓練に参加している	地震ブレイカー（揺れを感じて電気を止める器具）を設置している	自宅建物や家財を対象とした地震保険（地震共済を含む）に加入している	家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している	消火器や水をはったバケツを準備している	避難所等において医療が受けられるよう、お薬手帳などにより医薬品や病状等の情報を記録している	（障害がある場合）災害時に障害があることを周囲の人に気付いてもらえるような工夫（※）をしている	電池を携帯している	その他	特に対策をとっていない	無回答
総数		100.0 (3,449)	44.7	10.9	24.0	56.4	50.0	6.4	12.1	21.5	41.0	30.8	5.5	16.1	40.2	31.1	25.8	38.0	2.4	11.7	0.9	11.1	5.8
性・年齢階級別	男	100.0 (1,708)	42.8	16.0	22.2	55.0	51.0	5.0	11.7	21.8	40.9	31.3	5.7	15.7	41.6	32.2	27.5	37.3	2.1	12.6	0.5	12.2	5.4
	65～74歳	100.0 (815)	46.9	18.9	20.9	53.1	50.3	3.2	13.5	20.6	41.6	30.4	5.0	13.7	40.5	31.9	26.0	33.7	1.3	14.8	0.2	13.4	3.6
	75～84歳	100.0 (695)	41.0	15.5	22.0	57.4	53.4	5.6	9.8	23.2	41.4	31.9	7.1	17.7	43.0	33.2	29.6	40.1	2.7	11.4	0.6	10.4	6.5
	85歳以上	100.0 (198)	32.3	5.6	28.3	54.5	45.5	10.6	11.1	22.2	35.9	32.3	3.5	17.2	40.9	29.8	26.3	41.9	3.0	7.6	1.0	14.1	9.1
	女	100.0 (1,741)	46.5	6.0	25.7	57.7	49.1	7.8	12.4	21.1	41.1	30.4	5.3	16.5	38.9	30.0	24.1	38.6	2.8	10.7	1.3	9.9	6.1
	65～74歳	100.0 (669)	52.0	10.3	23.6	58.0	49.9	4.2	12.6	17.0	42.9	28.4	4.0	16.9	38.9	29.9	23.9	35.4	1.8	10.9	1.2	8.2	6.3
	75～84歳	100.0 (731)	49.1	4.0	27.9	63.1	54.4	8.8	15.5	23.0	45.0	35.3	7.3	17.8	41.9	31.6	26.0	42.3	3.6	11.6	0.7	7.0	4.5
	85歳以上	100.0 (341)	29.9	1.8	25.2	45.7	36.1	12.9	5.6	24.9	29.0	24.0	3.8	13.2	32.6	26.7	20.5	37.0	2.9	8.5	2.9	19.6	9.4
動作能力類型別	寝たきり高齢者	100.0 (99)	19.2	3.0	9.1	31.3	18.2	13.1	3.0	11.1	14.1	7.1	—	5.1	24.2	18.2	8.1	27.3	3.0	3.0	3.0	32.3	13.1
	寝たきりに近い高齢者	100.0 (175)	26.9	6.9	18.3	39.4	37.7	9.1	4.6	14.3	25.1	16.6	1.7	9.1	32.6	26.3	18.9	31.4	5.1	3.4	2.9	25.1	6.3
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (392)	38.0	8.7	21.9	55.4	42.3	6.6	7.9	17.3	34.9	27.8	4.8	14.8	37.0	22.7	25.5	36.2	3.3	10.7	0.8	14.3	4.8
	軽い障害のある高齢者	100.0 (1,044)	48.7	13.0	25.3	59.2	55.2	5.6	13.2	22.1	43.6	34.6	6.3	14.4	41.3	33.4	27.5	40.7	2.1	11.9	0.6	8.6	3.4
	障害のない高齢者	100.0 (1,404)	50.8	12.3	25.3	61.0	54.2	6.0	14.2	23.9	47.1	32.5	6.1	19.1	45.3	35.5	27.8	38.7	1.5	13.1	0.7	8.5	4.7
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,206)	44.4	10.2	24.5	57.3	50.3	7.3	10.7	22.1	40.8	31.0	5.6	16.0	38.7	30.7	26.1	38.4	2.7	12.1	1.0	10.7	5.9
	ひとり暮らし	100.0 (1,004)	37.4	4.2	20.8	51.2	43.0	8.4	8.1	19.4	32.3	27.0	4.6	13.1	31.2	23.4	19.6	31.2	2.5	11.5	0.9	15.7	7.0
	配偶者と二人暮らし	100.0 (1,083)	51.2	15.5	27.2	62.3	58.1	5.9	13.6	24.4	49.3	34.3	6.6	17.7	46.0	38.1	31.1	44.9	3.0	12.5	0.6	5.9	5.3
	その他	100.0 (119)	42.0	11.8	30.3	63.9	41.2	10.1	7.6	23.5	35.3	33.6	5.0	23.5	36.1	25.2	34.5	41.2	1.7	14.3	4.2	11.8	2.5
	高齢者以外(65歳未満)がいる世帯	100.0 (1,139)	46.4	13.1	23.4	56.2	50.9	4.8	15.1	21.0	42.3	30.9	5.5	16.8	44.2	32.3	26.1	38.2	1.8	11.2	0.7	11.4	4.6

(注) ※の「障害があることを周囲の人に気付いてもらえるような工夫」とは、ヘルプマーク、ヘルプカード、災害バンダナ等を指す。

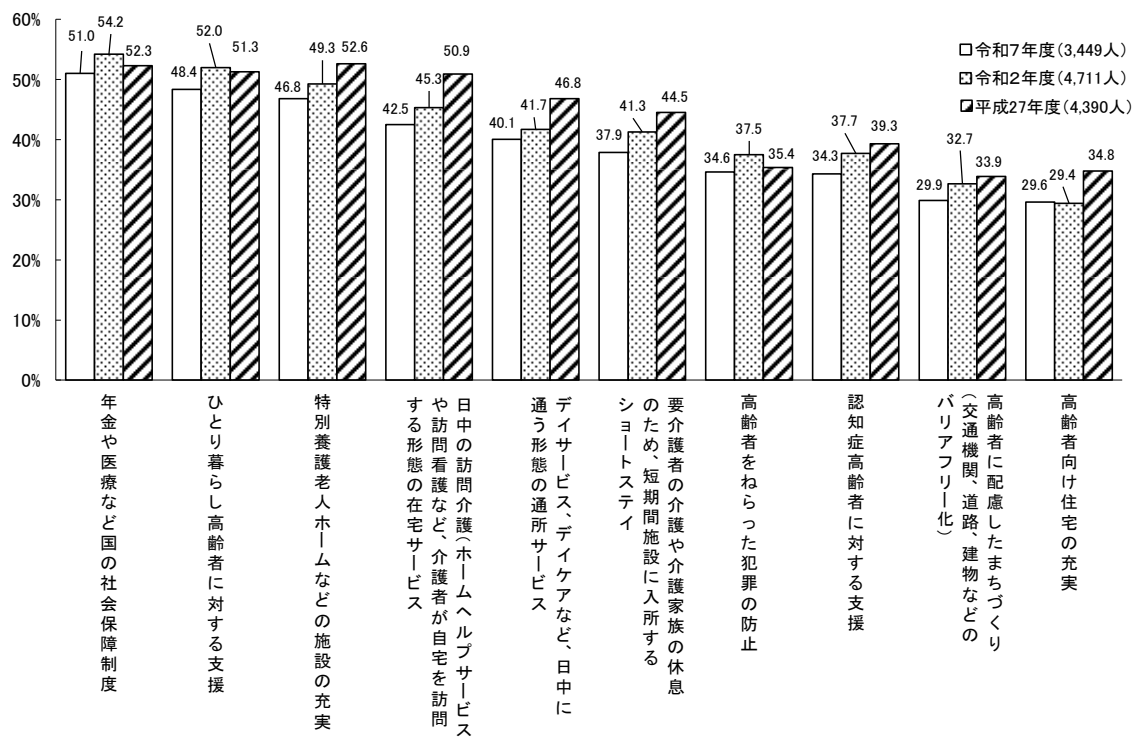
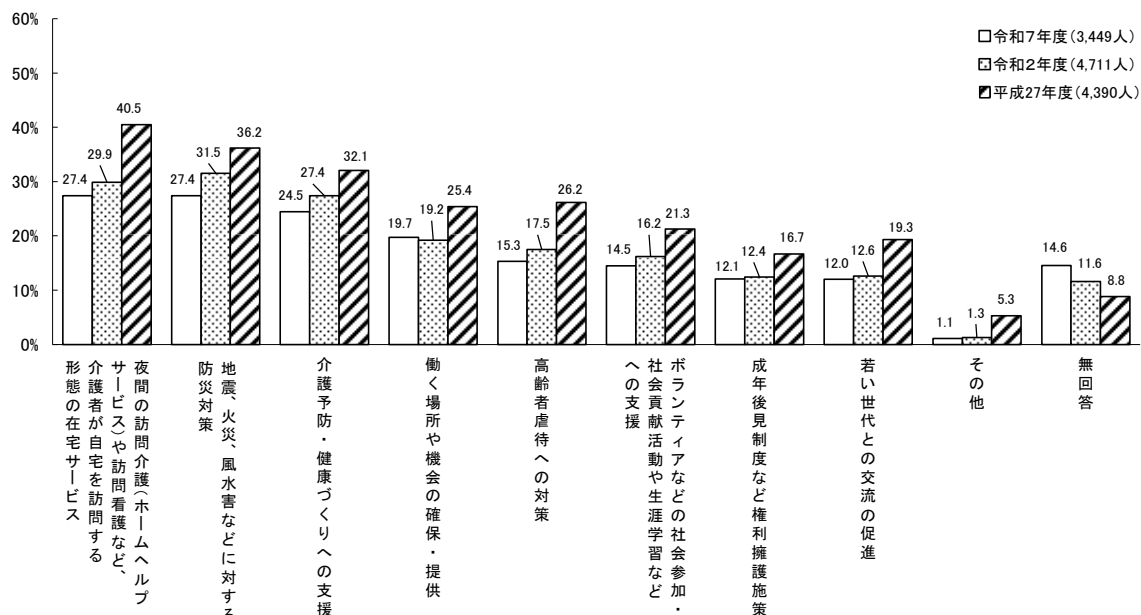
第12章 東京都への要望等

1 高齢者に対して必要な行政の施策や支援〔複数回答〕

高齢者に対する必要な行政の施策や支援は、「年金や医療など国の社会保障制度」の割合が最も高く、51.0%

大切だと思う高齢者に対する行政の施策や支援は何か聞いたところ、「年金や医療など国の社会保障制度」の割合が51.0%で最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者に対する支援」が48.4%、「特別養護老人ホームなどの施設の充実」が46.8%となっている。（図12-1）

図12-1 高齢者に対して必要な行政の施策や支援〔複数回答〕



(1) 高齢者に対して必要な行政の施策や支援〔複数回答〕

一性・年齢階級、世帯構成（世代）別

高齢者に対して必要な行政の施策や支援は、男女とも「年金や医療など国の社会保障制度」及び「ひとり暮らし高齢者に対する支援」の割合が高い

大切だと思う高齢者に対する行政の施策や支援について、性・年齢階級別にみると、男女とも「年金や医療など国の社会保障制度」（男性 50.8%、女性 51.2%）の割合が最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者に対する支援」（男性 48.2%、女性 48.5%）、「特別養護老人ホームなどの施設の充実」（男性 45.8%、女性 47.7%）となっている。

また、「要介護者の介護や介護家族の休息のため、短期間施設に入所するショートステイ」の割合は、65～74歳では、男性 37.1%、女性 49.5%で、女性の方が 12.4 ポイント高くなっている。

世帯構成（世代）別にみると、単身世帯（ひとり暮らし）では、「ひとり暮らし高齢者に対する支援」の割合が 58.9%となっている。（表 12-1）

表 12-1 高齢者に対して必要な行政の施策や支援〔複数回答〕

一性・年齢階級、世帯構成（世代）別

		総数	日中の訪問介護（ホームヘルプサービス）や訪問看護など、介護者が自宅を訪問する形態の在宅サービス	夜間の訪問介護（ホームヘルプサービス）や訪問看護など、介護者が自宅を訪問する形態の在宅サービス	デイサービス、デイケアなど、日中に通う形態の通所サービス	要介護者の介護や介護家族の休息のため、短期間施設に入所するショートステイ	特別養護老人ホームなどの施設の充実	認知症高齢者に対する支援	ひとり暮らし高齢者に対する支援	高齢者虐待への対策	介護予防・健康づくりへの支援	ボランティアなどの社会参加・社会貢献活動や生涯学習などへの支援	働く場所や機会の確保・提供	高齢者向け住宅の充実	高齢者に配慮したまちづくり（交通機関、道路、建物などのバリアフリー化）	成年後見制度など権利擁護施策	高齢者をねらった犯罪の防止	地震、火災、風水害などに対する防災対策	年金や医療など国の社会保障制度	若い世代との交流の促進	その他	無回答
総数		100.0 (3,449)	42.5	27.4	40.1	37.9	46.8	34.3	48.4	15.3	24.5	14.5	19.7	29.6	29.9	12.1	34.6	27.4	51.0	12.0	1.1	14.6
性・年齢階級別	男	100.0 (1,708)	43.0	26.2	38.9	33.8	45.8	34.4	48.2	12.9	22.3	13.6	20.1	28.5	27.1	11.5	33.0	26.9	50.8	10.1	1.1	12.4
	65～74歳	100.0 (815)	47.6	29.3	43.6	37.1	49.8	39.0	54.7	14.7	23.7	15.3	27.1	33.6	28.2	12.1	35.8	27.1	54.6	12.4	0.7	7.9
	75歳以上	100.0 (893)	38.7	23.3	34.7	30.9	42.2	30.1	42.3	11.3	21.1	12.0	13.8	23.7	26.1	11.0	30.5	26.7	47.4	8.1	1.3	16.6
	女	100.0 (1,741)	42.0	28.6	41.2	41.8	47.7	34.3	48.5	17.6	26.6	15.4	19.3	30.8	32.6	12.6	36.2	27.9	51.2	13.8	1.2	16.7
	65～74歳	100.0 (669)	47.7	34.7	47.8	49.5	57.0	41.0	56.5	22.0	28.4	17.0	28.7	40.1	34.8	15.7	36.6	28.6	61.0	15.8	1.3	9.9
	75歳以上	100.0 (1,072)	38.5	24.8	37.1	37.0	42.0	30.1	43.6	14.9	25.5	14.4	13.0	25.0	31.3	10.7	35.9	27.5	45.1	12.6	1.1	20.9
(世帯構成)別	単身世帯（ひとり暮らし）	100.0 (1,004)	37.2	23.0	30.6	26.8	40.3	28.3	58.9	14.4	20.7	13.7	19.5	34.9	26.4	12.3	34.0	24.2	45.6	11.9	1.6	14.8
	一世帯（配偶者と二人暮らし）	100.0 (1,214)	47.9	32.3	45.9	43.8	52.3	39.9	47.9	15.7	27.1	15.6	18.8	27.8	32.9	13.1	36.4	28.4	54.2	12.8	0.9	11.6
	二世帯・三世帯	100.0 (1,066)	42.5	26.9	43.2	41.7	47.7	34.2	39.4	15.4	24.9	13.7	20.9	27.0	29.4	10.2	33.4	28.6	52.8	11.2	0.9	17.1